遊びの要素を取り入れた「運動遊び」の学習

京都市立太秦小学校　校長　藤原　浩

1　なぜ今、運動遊びなのか

【子供を取り巻く課題として】

・運動習慣や体力の二極化

・将来も運動やスポーツを続けたいと思う子供と

　そうでない子供の差の広がり

・コロナ禍以降、体力水準が十分に回復していない

⇒ 学校で行う体育の授業はどうだったのだろう

２　現行学習指導要領の理念や趣旨の浸透は道半ば

【共生の視点からの体育の授業改善が進んでいる一方】

本当に全ての子供が体育を楽しめている？

・全ての子供が安心して楽しめているか

・運動が得意な子供中心になっていないか

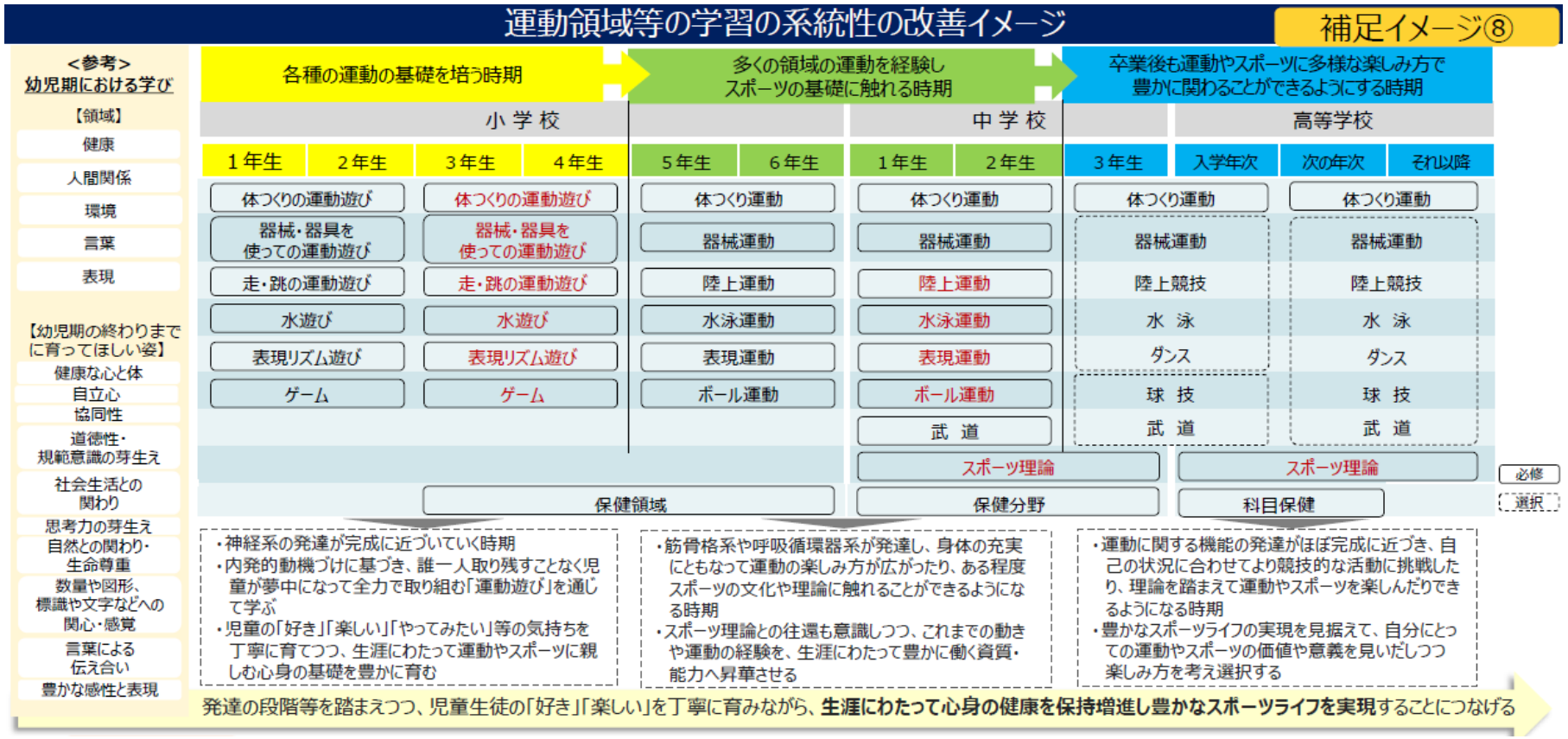
・運動が苦手な子供だけに目が向いていないか

・子供の実態よりも、公式のルールや用具を優先していないか

3　体育の学習に求められるものは

【小学校の体育の授業では】

「全ての子供が運動やスポーツの楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための基盤をつくること」



体育・保健体育、健康、安全ワーキンググループ取りまとめ（案）※会議後修正

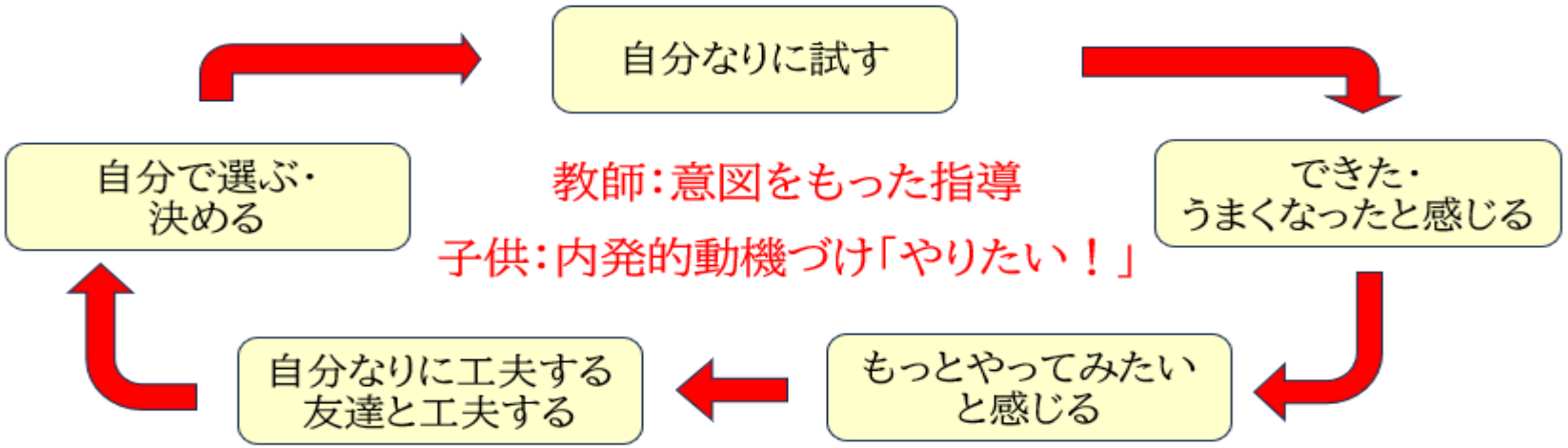
4　授業がどう変わる

【1～4年生「各種の運動の基礎を培う時期」 運動遊び】

「運動遊び」は、

いわゆるやらされではなく、児童の自己決定や自身の可能性の実現・能力の向上に向けて、教師による指導の意図性を有しつつ「遊び」の要素を取り入れた活動を計画し、児童が内発的に動機づけられて運動に取り組む活動を想定する。

体育・保健体育、健康、安全ワーキンググループ取りまとめ（案）※会議後修正



4　授業がどう変わる

【1～4年生「各種の運動の基礎を培う時期」 運動遊び】

「運動遊びで育まれる資質・能力」

・夢中になって遊ぶ過程で、**動きを身に付けたり磨いたり**するとともに、**「思考力、判断力、表現力等」**や**「学びに向かう力、人間性等」**も育まれる

「これからの授業づくり」

・特定の種目を教える授業ではなく、子供が運動の**楽しさや喜びを味わい**ながら、**「動き」**、**「運動の行い方」**、**「運動との関わり方」等**を**主体的に学ぶ授業**へ転換

・その後の学びへのつながりを見据えた授業づくり

5　具体的な活動例(1)

【中学年「高跳び」】全6時間計画

「いろいろな高さや形の場で、助走や踏切り、跳び方を自分なりに試したり工夫したりしながら、高く跳ぶことを楽しむ」

活動①(1･2時間目)
いろいろな場で、自己の行いたい跳び方を選んで楽しむ

活動②(3･4･5時間目) いろいろな場で
いろいろな助走や踏切り、跳び方を試したり工夫したりして楽しむ

活動③(6時間目)　1本ゴムの場で
自己に合った跳び方で高さへの挑戦を楽しむ

5　具体的な活動例(1)

【中学年「高跳び」】

活動①(1・2時間目)

いろいろな場で、自己の行いたい跳び方を選んで楽しむ

活動の場

1本ゴムの場、2本ゴムの場、斜めゴムの場、段ボール箱の場

高さ

30cm～70cm(子供の実態に応じて設定)

・自己が行いたい場を選び、自分なりの跳び方で挑戦

・様々な高さや形の場で楽しむ中で、多様な動きを経験

・教師は気付きや工夫を価値付け、学びの視点を示す

・安全な着地を約束事とする

5　具体的な活動例(1)

【中学年「高跳び」】

活動②(3・4・5時間目)

いろいろな助走や踏切り、跳び方を試したり工夫したりして楽しむ

活動の場・高さは活動①と同じ

様々な「助走」「踏切り」「跳び方」を試す

【両足で踏切り ・ 片足で踏切り】

【正面からの助走 ・ 斜めからの助走】

【3歩で助走 ・ 5歩で助走　・跳びやすい歩数での助走】

・様々な動きを試し、自己に合った跳び方を見付ける

・高さを自分で調整し、達成感を味わいながら挑戦する

・特定の跳び方を正解とせず、多様な動きを経験する(安全面には配慮)

5　具体的な活動例(1)

【中学年「高跳び」】

活動③(6時間目)

自己に合った跳び方で高さへの挑戦を楽しむ

活動の場

1本ゴムの場

高さ

自己の挑戦したい(跳べるようになりたい)高さ

・自己に合った跳び方を選び、高さへの挑戦を楽しむ

・記録の更新を目指し、自分なりの成長を確かめる

・達成感や成長の実感を味わうことで次の意欲につなげたり、合理的な動きの理解を促したりすることにつなげる

5　具体的な活動例(2)

【低・中学年 ボールゲーム】

ゲームの広がり

ゲームを楽しむ

⇧

協力する

⇧

親しむ

攻守のあるゲーム

攻めと守り・作戦づくり・友達との連携
「ゲームの楽しさ」

▲

運動遊びを基盤としたゲーム

的当て・シュート・パス遊び・ボール運び
「協力する楽しさ」

▲

運 動 遊 び

投げる・蹴る・捕る・転がす
「ボールに親しむ」「操作する楽しさ」

目指す子供像の姿

自ら活動を選ぶ

自分に合った方法を試す

「できた」を実感する

「もっとやってみたい」と感じる

工夫や挑戦を繰り返す

次の挑戦への意欲をもつ

運動遊びで培った資質・能力が、ゲームの楽しさを支え、
更なる資質・能力の育成につなげる

6　おわりに

「運動遊びが目指すもの」

・「やってみたい」、「もっと挑戦したい」

・多様な動きを経験

・達成感や成長を実感し、「またやりたい」

子供が

試し、考え、工夫する体育へ

誰一人取り残さない体育の実現